



若竹だよい



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

自助努力

園長 宮竹 恒

新緑の5月、学園の園庭に鯉のぼりが泳ぎ子どもたちの成長を見守ってくれています。

鯉のぼりは、中国の登竜門の故事（黄河の激流にある竜門と呼ばれる難所を登り切った魚は竜となれるという伝説）に由来があり、困難に打ち勝って大成する立身出世の象徴とされています。



さて、先日、退園生のA君が来園し話をする機会がありました。彼は、卒園後、高校を卒業し、自分の夢を実現するために専門学校に進学しています。在園中、非常に困難な状況の中、最後まで諦めず勉強を続け志望校に合格しました。他の子どもが遊んでいる時間も勉強していました。学園生活の中で苦しいことも多々あったと思いますが、置かれた状況を言い訳にせず、努力を続ける姿は後輩の良き見本となりました。

「学園で生活して人生が変わった。学園に感謝している」と話してくれた彼に「努力を続けたのはA君だし、今も自分の夢を実現しようと努力しているのがわかるよ」と伝えました。それでも彼は、「学園に来る前の自分とは違う」と感謝の言葉を重ねてくれました。

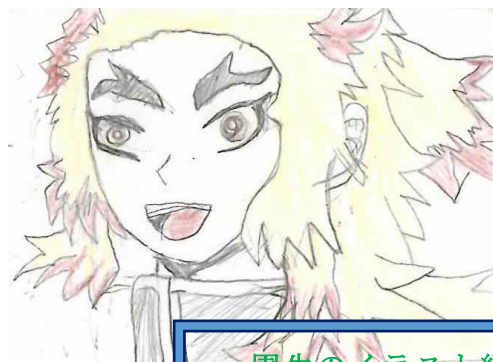
また高校で出会った先生への感謝の気持ちや、相談にのってくれた他の支援者の方への感謝の気持ちも話してくれました。

最後には「今日は、来れて良かったです。」と話し、涙を流す彼の姿を見て感動し、彼と出会えたことへの感謝を伝えました。

卒園後も平坦な道を歩いたわけではないと思いますが、不満を話すことはなく、将来の夢に向けて目を向けていました。

「天は自ら助くる者を助く」という言葉がありますが、これまで彼が感謝を忘れず謙虚に努力している姿に多くの方々が協力を惜しまなかったであろうと思います。また彼自身が身に着けた自助努力の精神は、一生の宝物であると思います。その一助に学園での生活が役に立ったのであれば、これほど嬉しいことはありません。

学園での生活は、子どもたちにとって決して楽なことばかりではないと思いますが、職員、仲間と協力して乗り越え、鯉のように、いずれは自分の力で人生の荒波を泳ぎ渡ることが出来るよう願っています。 —了—



園生のイラスト紹介

青峰・若竹学級だより 5月

新体カテスト

高松市西部運動センターをお借りして、「新体カテスト」を実施しました。

まず、グラウンドで小学生のソフトボール投げと中学生のハンドボール投げを行いました。今年からハンドボール投げになった中学1年生は、ボールの大きさに戸惑いながらも精いっぱいので投げていました。50メートル走では、少しでも記録を伸ばそうと、真剣に取り組む姿が見られました。



次に、体育館に移動して反復横とび、20メートルシャトルラン、上体起こしを行いました。シャトルランでは、小学生男子が「得点表」の最高得点に迫る70回を走るなど健闘し、お互いの頑張りを拍手で称え合っていました。また、体育館の床の清掃も全員で行いました。



その後、学校1階のホールに戻り、握力、長座体前屈、立ち幅とびの3種目を実施しました。得点表や評価基準表を参考に目標を決めて取り組む子どももいました。小中学生がお互いに譲り合うことでスムーズに進行し、全8種目のテストを、1日で完了することができました。

学習の様子

小学生は生活科や家庭科の授業で使うピーマン、トマト、インゲンを植えました。また、理科で観察するためにホウセンカの種を撒き、メダカを飼い始めました。水やりなどの世話をしながら、楽しく見守っています。



野菜を育てています



メダカの水槽

ホウセンカ

中学生は、ゴールデンウィークが終わると、苦手克服や復習のために放課後の時間を使って学習する生徒がいました。先生に質問したり、友達同士で教え合ったりして、頑張っていました。5月17～18日には、中間テストが実施され、どの生徒も真剣に取り組むことができました。



ゴールデンウィーク

5月2日・たけのこほり



地面からコンソット顔を出しているたけのこを見つけるのは結構至難の業です。

しかし探し始めると、竹林



のあちこちから飛び交う「あった!」「見つけた!」という声。貴重なタケノコなので、丁寧に、慎重に掘り進めていきました。地面から僅かに見えているタケノコは、掘ってみると驚きの大きさです。しばらくすると「先生見て!とれたよ!」と職員を呼ぶ声も聞こえてきました。その時の顔は皆、とても満足そうでした。

収穫したタケノコは煮物やお吸い物になって食事に出てきました。一生懸命掘ったタケノコの味は別格。新鮮でアクもなく、おいしくいただきました。



園生のイラスト紹介

5月5日・ピザパーティ&若竹シアター



GW中は、天候の優れない日が多かったこ

ともあり、何か室内で子どもたちが楽しめる行事は出来ないかと考え、ピザパーティと映画鑑賞会を行いました。

外出制限がされている中、少しでも映画館の雰囲気味わってもらえるように工夫しました。子どもたちの美味しそうにピザを食べる姿や、映画に夢中になっている姿を見られて、良かったです。



朝から、子ども・職員全員でそれぞれの担当の準備をしました。主に男子が火お

こしを、女子が食材準備をしました。火おこしでは、炭に着火剤を塗り、新聞紙も使って火をつけていましたが、炭が湿っていたのか直ぐに消えてしまいました。着火ライターの燃料も少なくなり、BBQの調理時間が刻々と迫ってきました。その時、子どもが細かい木の枝や葉っぱを両手いっぱい集めて各コンロに調達してくれ火が付きました。

野菜・焼きそばの準備もでき、計画とおりに食事をすることができました。どの子も思い思いの食材を遠慮することなく、ほおばっていました。いつもは自分の意思を主張できない子どもも積極的に食材を選んでいる姿が見

られました。チーズフォンデュ、かき氷も振舞われ、至福の時を過ごすことができました。

BBQを成功させようと、職員と子どもが一体となり困難に向かい、自然に協力し合えた貴重な一日でした。ごちそうさまでした。

心理行事

みんなでコネこねんど!



初めは、戸惑って何を作っているか悩んでいる子が多かったですが、時間が経つとアイデアが

思い浮かび、真剣な表情で夢中になって作っている子が増えてきました。最後には作ったものを近くにいる職員に伝えている子もいました。

手で描こう芸術アート!

初めは、個人で自由にスポンジを使って好きなものを描いていました。途中である子が手のひらにたっぷりと絵具をつけて手で布をバンバンと叩き、布に手形を残す様子を他の子が見ていました。次々と他の子も真似をして満面の笑顔で楽しそうにバンバンしていました。言葉がなくとも子ども同士の表現が連鎖して最高の作品が完成しました。



5月行事

1日、2日	心理行事
4日	バーベキュー、カード大会
5日	映画鑑賞会
10日	2階買い物外出
22日、23日	誕生日ケーキ作り

在籍人数

令和3年6月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	4	8
中学生	13	0	13
合計	17	4	21

ご寄付ありがとうございます。

日本舞踊先生

お菓子沢山

編集後記

今月はGWもあり、行事をたくさん行うことが出来ました。新型コロナウイルスの影響によって世の中が大変な時期ではありますが、子どもたちの元気な姿が希望の光のように感じます。

小田

第326発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

